

学びの創造

日一日とやわらかな日差しとなり、キャンパスにあれほど積もった雪が消え、秋田にもようやく春の兆しです。今年度最後のセンターニュースです。

★新年度に向けてセンターの今後が話し合われています。

平成24年度は、秋田大学教育文化学部改組に向けて大きく舵を切る年となりました。4名の新メンバーが加わり16名となったセンター所員一同、新しい学部教育組織の中でどのようなニーズに応え、センターとしての機能を果たしてゆくのか、具体的にどのような事業を展開してゆくのかなど検討を重ねています。附属学校園の公開研究協議会開催や出前授業、オープン研修をはじめ、これまでセンターが担ってきた業務について一層充実を図ることはもちろん、教育現場と研究者を結ぶ新たなプロジェクトの立ち上げなど着々と準備が進められています。センターも大きな変革の時期を迎えているようです。皆様方のこれまでのご支援に深く感謝しつつ、今後も一層のお力添えをよろしくお願いたします。

●附属臨床心理相談室のご紹介

ご存知の方は少ないかもしれませんが、センター機能のひとつに、『教育実践研究支援センター附属臨床心理相談室』があります。この相談室は、一般市民の方々に開かれたカウンセリングを中心とした有料の相談機関として、開設13年目を迎えています。ここでは、おもに大学院教育学研究科心理教育実践専修に所属する学生に対する臨床心理実践の訓練が行われており、臨床心理士として活躍する人材の育成が図られています。さまざまな心の悩みや症状、問題をもった来談者の方々と心理面接には、臨床心理士の有資格者でもある本センター教育臨床研究部門の教員および心理学研究室の教員の5名をはじめとする総勢45名のスタッフが対応にあたります。前々号のセンターニュースでもご紹介しましたが、5号館改修にあたり相談室も新しく使い勝手の良いものになりました。今回は、少しだけですが皆さんが普段あまり見る機会のない相談室内部のご紹介をいたしましょう。



センター建物横、5号館1階が「臨床心理相談室」です。1階部分のみ外壁がピンク色に統一され、柔らかい印象を与えています。入り口にはスロープもつけられ、多目的トイレも設けられています。正面の自動ドアを入ると

受付です。受付の前に待合スペースがあり、絵本などが置かれています。その奥には、通常の相談面接に使用する個室の他に、家族療法や集団での面接あるいは少人数の会議に使用される集団療法室、子どもたちが自由に動くことができる広いスペースとおもちゃのある遊戯療法室、それから箱庭療法を行うための砂箱やミニチュアが整備された箱庭療法室といった治療目的や技法、対象に合わせた治療室が並んでいます。改修にあたって、内装を相談室担当教員が長い時間をかけて検討し完成したものです。



秋田大学臨床心理相談室の受付時間は、平日 9:30~16:00 です。

お問い合わせは、お電話 (018-889-2578) でお願いいたします。

問い合わせ先：教育実践研究支援センター 018-889-2700 E-mail : office@cerp.akita-u.ac.jp